

漁海況情報第3報 (2021年6月11日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0139

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

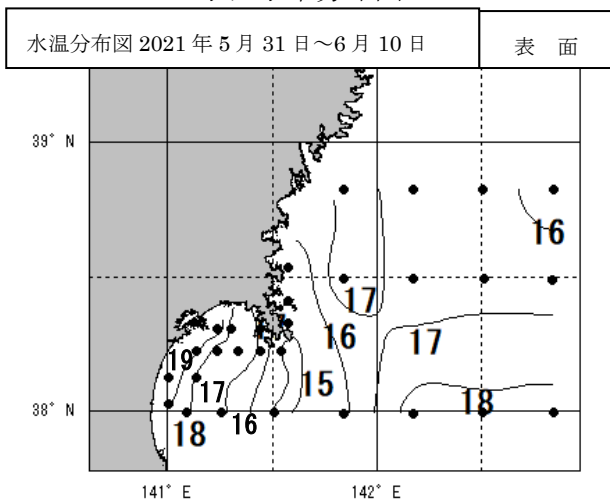
表面水温は平年より高めの傾向を示し、最大4℃高めとなっていますが、水深100mでは142°30'E付近に親潮系冷水の差し込みが見られます。

宮城県沿岸の表面水温は14～19℃台、100m深水温は4～11℃台となっています。[P1. 水温水平分布図] [P1. 水温平年偏差図]。鉛直断面図は図のとおりで、38°50'Nラインでは142°30'E、水深100m付近に親潮系冷水が差し込み、水温が低くなっているところがあります。[P2. 水温鉛直断面図]。

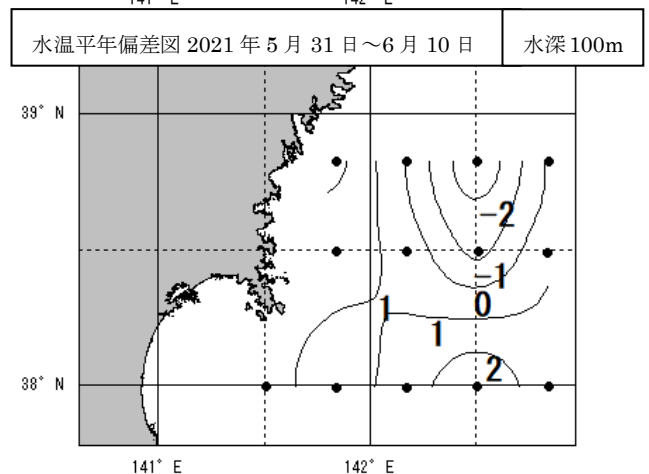
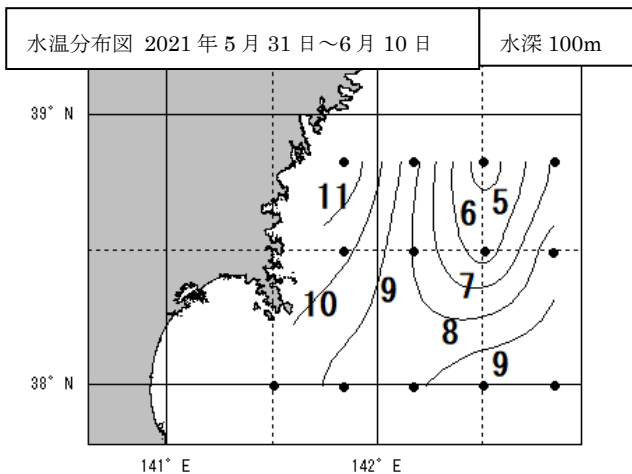
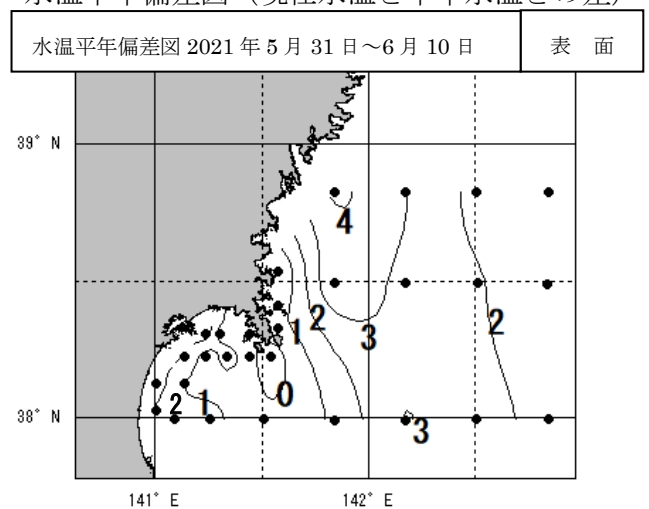
(一社) 漁業情報サービスセンター表面水温情報によると、親潮の9℃台冷水は襟裳岬周辺へ後退しましたが冷水域が残存しています。青森～金華山沿岸～仙台湾口～福島南部沿岸に13～14℃台の混合水が分布しています [P2. 東北海域の海況図：(一社) 漁業情報サービスセンター]。

6月上旬の定地水温は気仙沼・歌津・亘理では機器のメンテナンスのため欠測となりましたが、他の調査点では14～20℃台で、江島・佐須浜でやや高め、田代島で高め、桂島で平年並となっています。[P3. 定地海洋観測図]。海底直上水温は4～11℃台です [P3. 海底直上水温図]。

・水温水平分布図

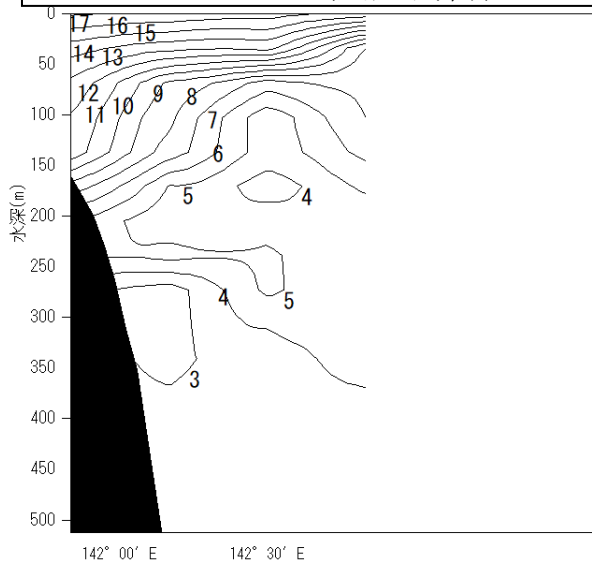


・水温平年偏差図 (現在水温と平年水温との差)

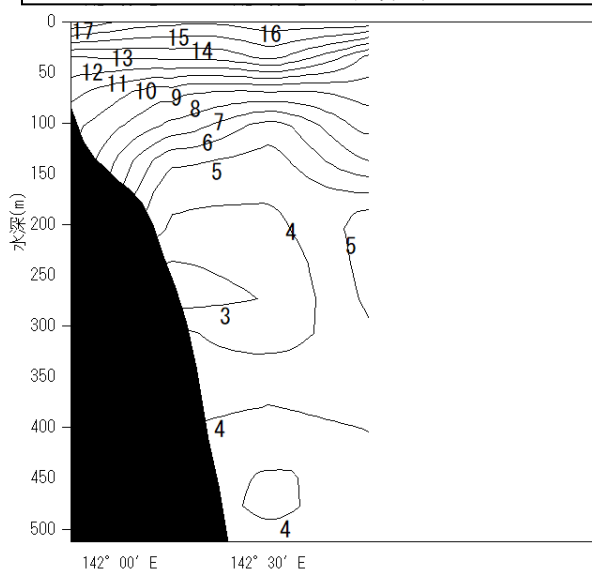


・水温鉛直断面図

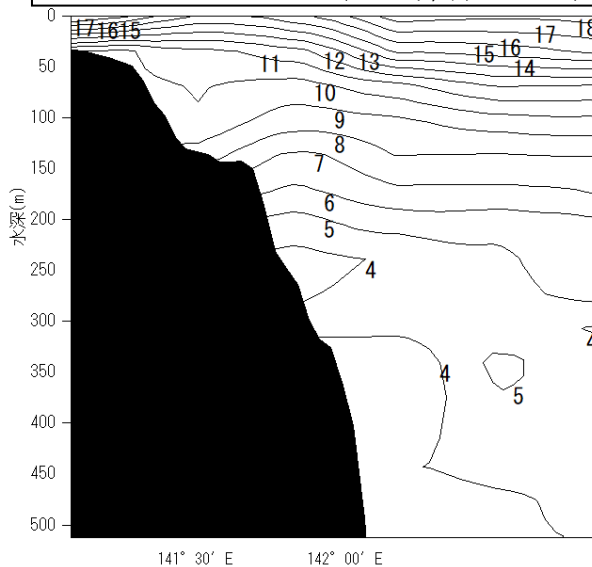
38° 50' Nライン (気仙沼沖合ライン)



38° 30' Nライン (雄勝沖合ライン)

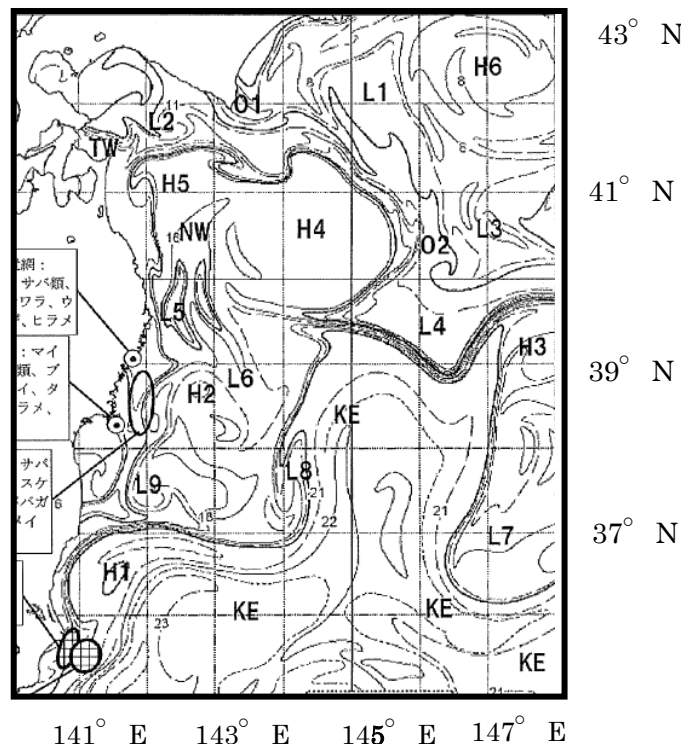


38° 00' Nライン (亶理沖合ライン)



2021年6月7日の東北海域の海況(表面水温)

(一社) 漁業情報サービスセンター



特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター

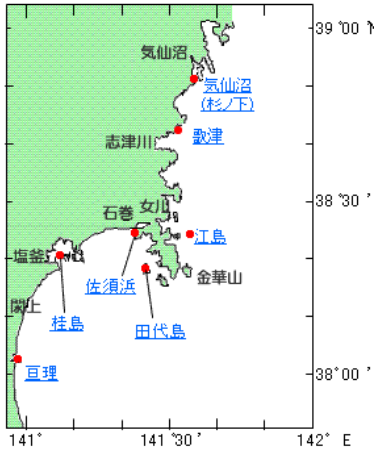
【海況】 (6月7日表面水温)

- ・親潮第一分枝の9°C台冷水は襟裳岬周辺へ後退, 苫小牧沖に冷水域残存。
- ・津軽暖流は弱く, 福島以北に北上暖水が接近。
- ・青森～金華山沿岸～仙台湾口～福島南部沿岸に13～14°C台の混合水が分布。
- ・黒潮続流は犬吠埼沖25海里を北東へ進み, 気仙沼沖180海里まで北上。
- ・房総～常磐に18～19°C台暖水が波及。
- ・15～18°C台の暖水が宮城～青森沖を北上し暖水塊を形成。

【漁況】 (6月4～6日)

- ・まき網: 1 そうまき網と2 そうまき網は6/6～7に犬吠埼沖などで操業, マイワシ2700トンの水揚げ。
- ・定置網: 石巻はマイワシ主体, タチウオが入網開始。大船渡はマイワシ, ブリ類, サバ類主体に水揚げ。
- ・カツオ竿釣: 房総～福島沖東の海域で時化模様の中操業, ビンナガ主体にカツオを平均5トン/隻・日を漁獲。
- ・カツオまき網: 房総沖など東北海域で操業, 6/4と6/6～7にカツオ主体にメバチやキハダなど水揚げ。

・定地海洋観測



	6月上旬		平年差	前年差
	観測値	傾向		
気仙沼(杉ノ下)	—	機器調整中	—	—
歌津	—	機器調整中	—	—
江島	14.6	やや高め	1.1	0.5
田代島	18.4	高め	2.0	0.0
佐須浜	18.7	やや高め	1.3	-1.1
桂島	20.1	平年並み	0.1	-1.4
巨理	—	機器調整中	—	—

※平年値 = 過去30年

※佐須浜(過去10年)

※歌津(平成28年12月から観測再開)

※桂島(平成24年3月から観測開始)

※巨理(平成24年10月から観測開始)

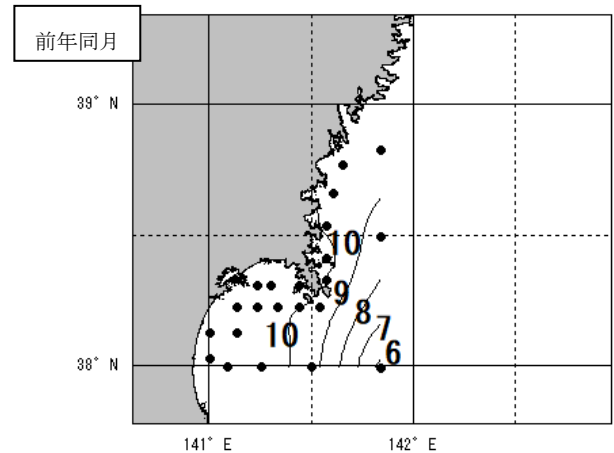
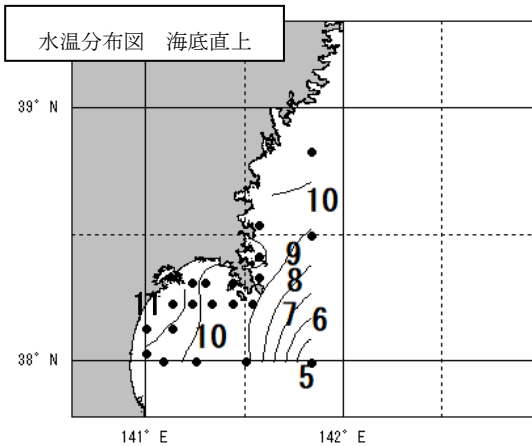
※最新の定地海洋観測結果は、

<http://www.miyagi-suisan-navi.jp>でも公開中です。

・海底直上水温図

・海底直上水温(2021年5月31日~6月10日)

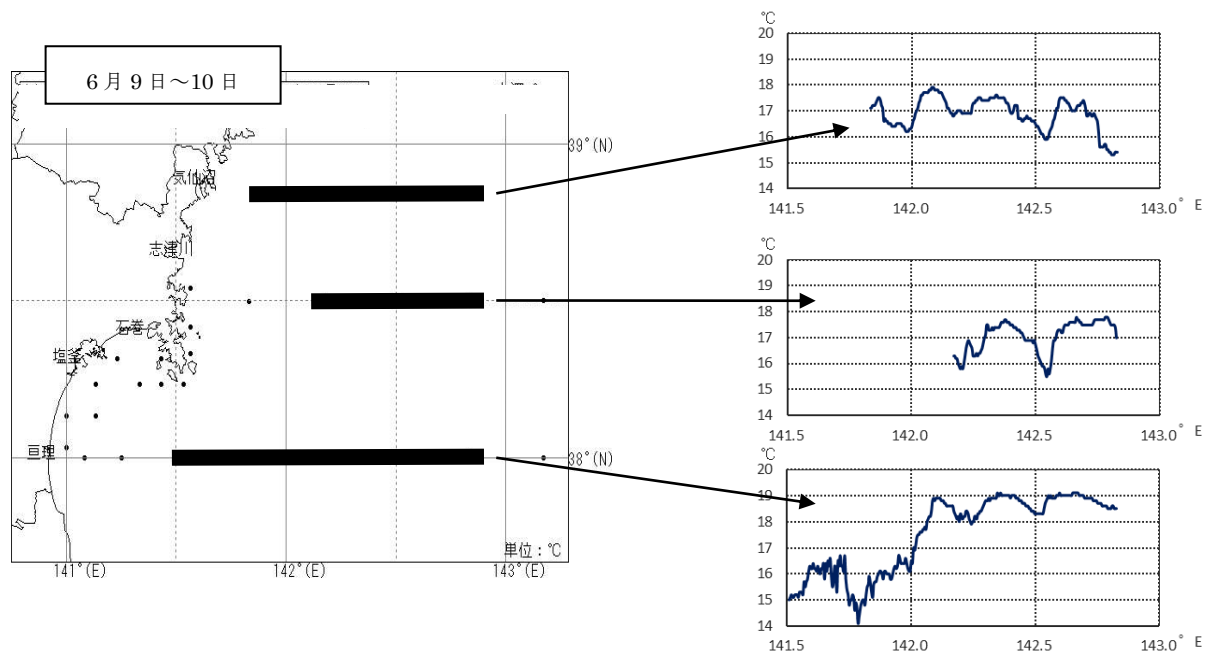
・海底直上水温(2020年6月3日~6月30日)



(※観測水深は500mまでです)

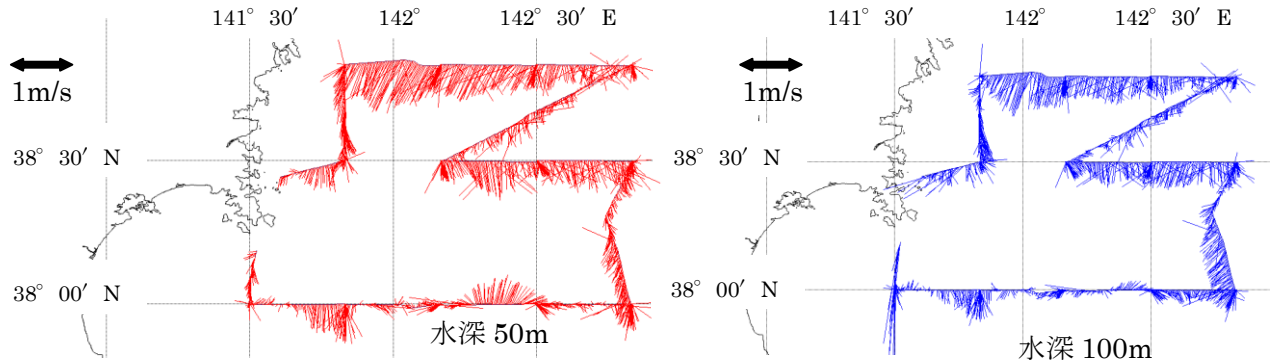
2. 表層水温情報

みよしおによる航走表面水温については、次のとおりです。



3. 流向流速情報

みやしおに搭載している「超音波ドップラー流向流速計(ADCP)」で取得した 50m,100m 深の流向流速は、下記の通りです。



※潮汐成分は除去されておりません。流向は測線から伸びている方向に流れがあることを示しています。

4. 漁況

5月の水揚量は前年と比較して、カツオが大幅に増加したほか、ヤリイカ、スケトウダラ、キハダなどが増加しています。カタクチイワシ、ビンナガ、メバチなどは減少しています。(単位：トン)

2021年5月	沖底	小底	旋網	サンマ棒受	竿釣	定置網	刺網	いか釣り	延縄	流し網	その他	総計	前年同月比
ビンナガ			39		2110				69	0	0	2218	38%
メバチ			3		47		0		22	0	0	72	41%
クロマグロ			157			0	0		2	3	0	162	50%
キハダ			24		0				6		7	38	265%
サバ類	3229	28				3343	1				99	6700	148%
カツオ			168		35						730	933	4625%
ヒラメ	1	19				2	13				16	51	84%
マコガレイ	0	7				0	8		0		4	19	54%
マガレイ		2				0	0				0	2	106%
スルメイカ	2	7				5					0	14	195%
ヤリイカ	1	25				37	0				1	64	453%
マイワシ		2				10192					239	10432	158%
カタクチイワシ											0	0	3%
マダラ	241	9				0	7				89	347	92%
スケトウダラ	393	9				0	1				12	416	487%
サワラ	0					5	0		1		0	6	163%
ガザミ		0				0	9				2	11	91%
ミスダコ	27	89				0	1				8	125	157%

※0は1トン未満を示しています。

5. 調査船運航計画

みやしお	
6/15~16	スルメイカー斉調査
6/17~18	
6/21~22	
6/23・24・25	タラ類新規加入量調査
開洋	
6/28	カタクチシラス調査